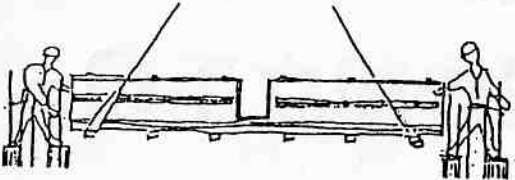
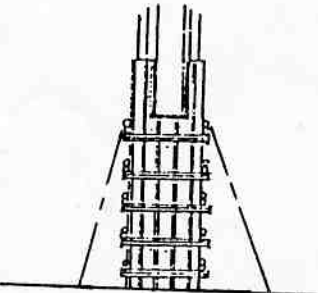
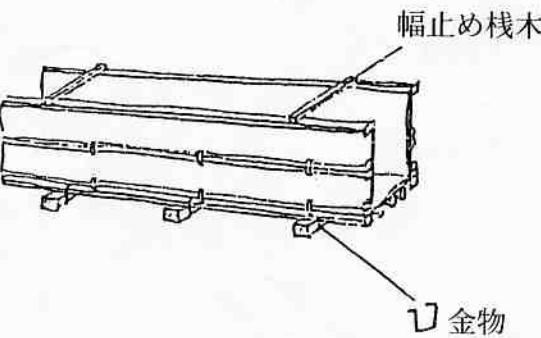
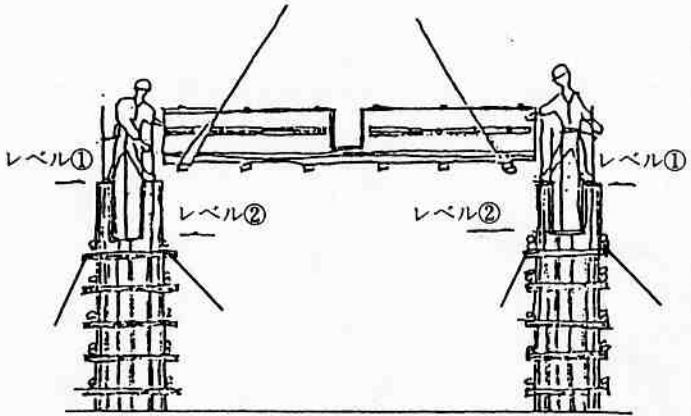
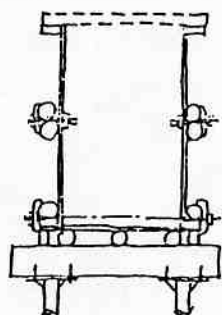
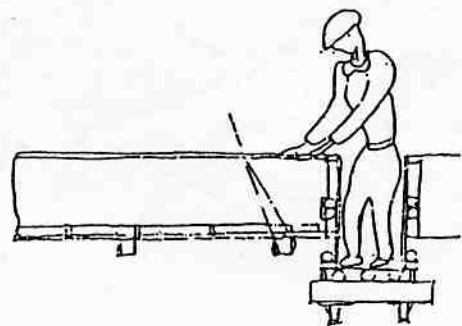
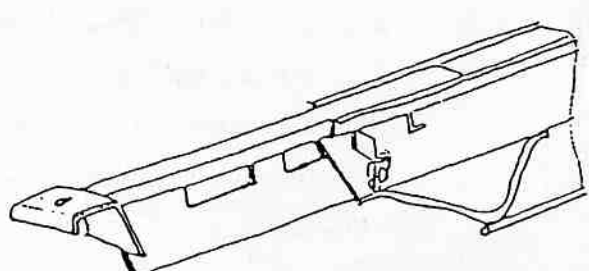
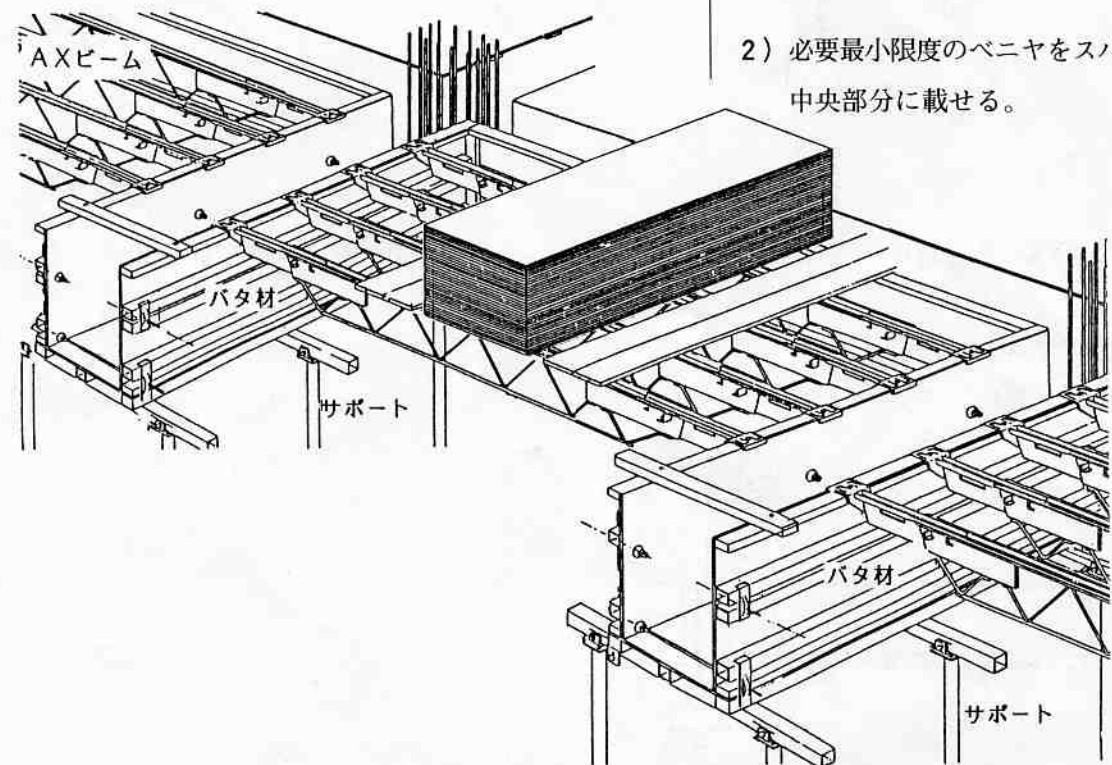


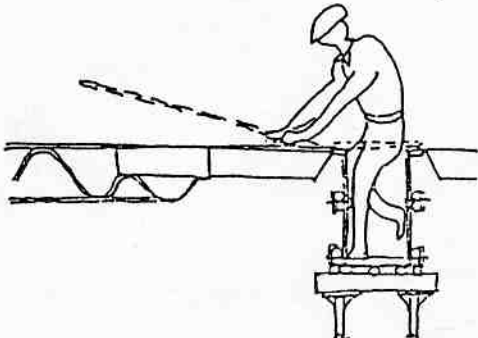
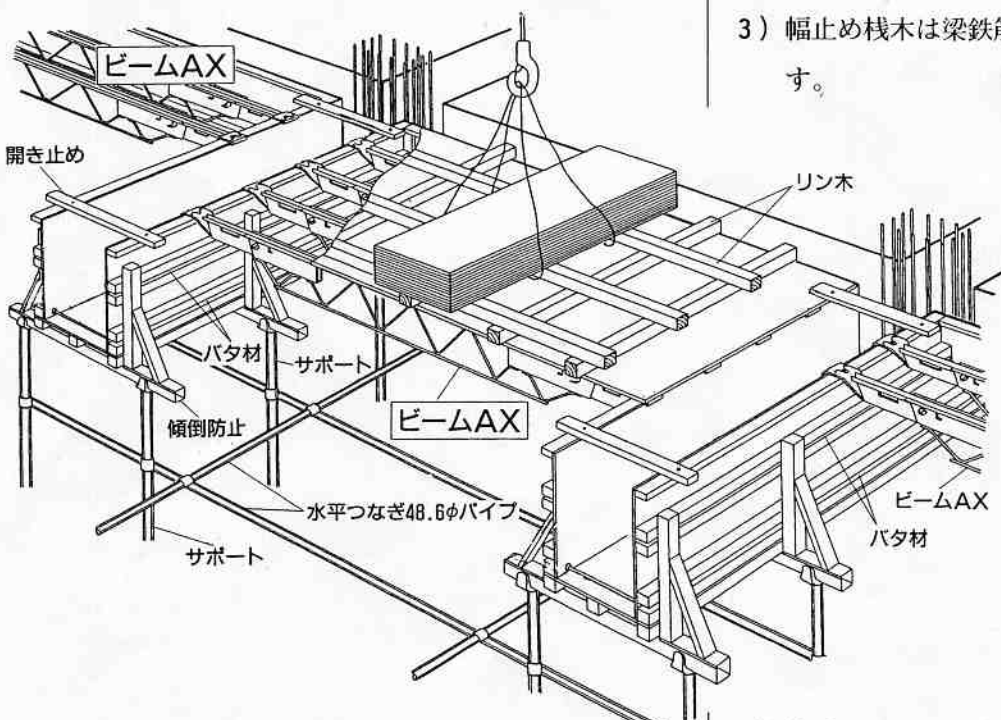
# ホリービーム工法における 荷受け用先行型枠組立手順

※作業上の安全管理に注意を要します。  
「ビームステージ」をお勧めします。

手 順	安全作業の急所
<p>1. 準 備</p> <p>(1) 荷受け場所（先行スラブ）の選定</p> <p>(2) 玉掛けワイヤー</p>  <p>(3) 足場板</p>	<p>1) 可能な限り建物の中央部に定める。</p> <p>1) 梁取り付け作業時に安全帯を掛けた状態で取り外すことの出来る長さの物を用意する。</p> <p>1) ビーム架設後運搬用通路として代用する。 ★ベニヤで足場板の代用は不可</p>
<p>2. 柱型枠建込</p> 	<p>1) 柱型枠は建入れ精度を確かめてサポート、チェーン等により固定する。</p>
<p>3. 梁型枠下拵え横端太セパ付け地組み</p> 	<p>1) 梁型枠の最下部のセパレーターは必ず取り付け、端太パイプにて固定する。</p> <p>2) 梁型枠の上段のセパレーターの取り付け位置に端太パイプを取り付けて梁型枠の剛性を増やす。</p> <p>3) 梁型枠の天端に幅止め棧木（3m間隔）を取り付ける。</p> <p>4) 梁底受のトンボ端太の落下防止のため完全に固定する。</p>

手 順	安全作業の急所
<p>4. 大梁型枠の建込</p> 	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 作業員は必ず柱筋の中に入り安全帯を柱筋に掛ける。</li> <li>2) 柱型へのセッティングは、安全な体勢で行う。</li> </ol> <p>★地組みした型枠を受て、梁型枠が柱にかかりはじめた状態で荷を一旦止め、レベル①→レベル②へと移り体を安定させた状態でセッティング体勢をつくる。</p>
<p>5. 大梁下のサポート立て</p> 	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) サポートは必ず2本立てを行う。</li> <li>2) トンボ端太を取り付け、必ず釘か止め金物で固定する。</li> </ol>
<p>6. 小梁・孫梁の取り付け</p> <p>★梁型枠の中での作業は安定した姿勢で行う。</p> 	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 作業員は必ず大梁型枠の中に入って荷受を行う。</li> </ol>

手 順	安全作業の急所
<p>7. ホリービーム架け</p> <p>1) ビームは平坦な場所で所定寸法に地組みする。</p> <p>2) ビームを架け渡すには梁型枠の中に入って荷受け場所となるスパンから先行する。</p> 	<p>1) サイドビームとビーム本体は、クサビで堅固にとめる。</p> <p>2) ビームを架け渡す順序は、柱側から中央へと進める。</p>
<p>8. ビーム上にベニヤを揚げる。</p> <p>最大積載荷重 600 kg</p> 	<p>1) ビーム上に足場板を揚げ、作業用の足場を確保する。 (開口部からの墜落には十分注意する)</p> <p>2) 必要最小限度のベニヤをスパンのほぼ中央部分に載せる。</p>

手 順	安全作業の急所
<p>9. スラブのベニヤ張り</p> 	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 梁型枠の中に入って、移動しながらベニヤ板を張る。梁側のベニヤ1枚通り張り終わったらスラブベニヤ上に乗って順次中央へと進める。</li> <li>2) スラブベニヤ張りの済んでいない部分（開口部）からの墜落には十分に注意する。</li> </ol>
<p>10. スラブ上にビーム材、ベニヤ揚げ</p> <p>★ベニヤが梁から梁へ打たれてスパンとしてまとまって始めてスラブとしての強度をもつことができる。</p> 	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 荷受け用スラブ上には制限荷重以上の荷揚げをしない。</li> <li>2) 最大積載荷重 1200 kgを厳守する。 (ベニヤ 3' × 6' = 100 枚)</li> <li>3) 幅止め栈木は梁鉄筋の組立て直前に外す。</li> <li>4) 荷受け用スラブを終らせてから周辺のスラブを固めていく。</li> <li>5) まとまったスラブ以外には、物は絶対に乗せない。</li> </ol>